

# 一般質問通告書

令和7年第3回定例会において、下記の事項について一般質問（個人質問）を行いたいのので会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和7年8月18日

議員氏名 近澤 美佳子



海市議第91号

-7.8.18 受付

分類 永・10・5・3・1・常  
海津市議会

海津市議会議長様

受領番号	第4号	受領日時	令和7年8月18日13:00
要旨	① 切れ目ない子育て支援としての『おむつお届け便』の導入について		
質問相手	市長		
要旨	② 市内小中学校における暑さ対策の現状と今後の取組みについて		
質問相手	教育長		
質 問 内 容			
1. 切れ目ない子育て支援としての『おむつお届け便』の導入について			
<p>本市では、「子育て世代に選ばれるまちづくり」を政策目標として、かいづっこハピハピ給付金や認定こども園の利用料無償など、妊娠期から子育て期にわたって様々な子育て支援策が講じられており、子育て世代の安全・安心な暮らしのためにご尽力いただいていることに、まず感謝申し上げます。</p> <p>さて、近年、多くの自治体で「おむつ定期便」や「おむつお届け便」といった、紙おむつを自宅に定期的に配送するサービスを導入する動きが広がっています。これは、特に乳児を抱えるご家族において、経済的・身体的・心理的な負担を軽減することを目的としている支援策で、平成28年に東近江市がスタートしたものです。「生協コープしが」に委託し、1歳未満の子がいる世帯に毎月1,500円相当の育児用品を届ける、という内容でした。その後、この「おむつ定期便」を有名にしたのは、兵庫県明石市です。明石市では、毎月1回の</p>			

紙おむつやミルクなどの赤ちゃん用品の無料宅配の他に、育児経験のある女性が見守り支援員として訪問し、育児の不安や悩みを聞き、必要に応じて市の育児サービスを紹介してくれるそうです。その後、石川県小松市、宮城県富谷市、福岡市、令和7年7月31日には揖斐川町も、お届けする内容や回数など独自のアレンジを加えて導入する事例が増えてきました。

育児の初期段階は、外出が困難なことが非常に多く、特に核家族の環境などサポートを受けにくい状況下では、買い物に行くなどの「ちょっとした支援」が大きな安心感につながるがあります。また、子育て中の母親は、身体的にも精神的にも負担が大きく、社会から孤立していると感じる人も少なくありません。支援制度導入当時の明石市長は、自身の SNS の投稿で「おむつ宅配には、玄関のチェーンロックを開けてもらって、中に入って子どもを確認するという狙いもある」と説明をされていました。

このような中で「おむつお届け便」は、単なる物資の提供にとどまらず、「子育てに寄り添っていきます」という市からのメッセージとなり、子育てへの前向きな気持ちを後押しする効果も期待できるものと考えます。

そこで、お尋ねいたします。

- ① 本市の子育て支援施策の中で、乳児期の家庭における具体的な支援内容について、教えていただけますか？
- ② 全国的に導入が進んでいる「おむつお届け便」について、市として導入の可能性をどのようにお考えでしょうか？

## 2. 市内小中学校における暑さ対策の現状と今後の取組について

近年、夏の気温は全国的に上昇しています。本年度に至っては平年より早く梅雨が明けた結果、6月末から異常な高温が続き、各地で観測史上最高を記録

し、その暑さは9月・10月にかけても収まらず、残暑の長期化が懸念されています。熱中症のリスクが過去最高レベルに高まっている最中、海津市内の小中学校でも、教室の空調設備は整ってきてはおりますが、体育館や運動場での活動、通学、行事開催時など、様々な場面で暑さへの対策を行うことが必要であると考えます。

一部の自治体では、ネッククーラー（冷却式の首元冷却装置）を下校時にも使用できるよう、学校に冷凍庫を設置し、児童生徒が帰宅前にネッククーラーを再冷却できる体制を整えています。

県下では美濃加茂市が令和7年6月、約680万円の補正予算を計上し、市立小学校全9校に、原則1学級に1台を置き、最大で140台分の冷凍庫をこの夏休み明けから順次導入するそうです。他にも、愛知県蟹江町、三重県川越町でも昨年からの導入されています。この取組みは、効果的に熱中症リスクを軽減する具体策として注目されています。

そこで、本市における、市内小中学校での暑さ対策の現状についてお尋ねいたします。

①夏場の授業や、登下校時の暑さ対策として、取組み内容を教えてください。

特に小学校低学年への配慮はどのようになっていますか？

②下校時にも冷却したネッククーラーを使用可能とするため、学校に冷凍庫を設置する可能性についてどのように考えておられますか？